

石川県 健民運動

※ かわら版 12月号



冬木立 (金沢市 12月)

《24. 12. 21第200号》

毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、
運動することを習慣にしましょう ～

発行：石川県健民運動推進本部
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民交流課内
TEL 076-225-1366

インターネット **健民運動** **検索**

twitter @kenmin_undou

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

鼓動 石川県健康クラブ交歓大会 石川県健康クラブ協議会 会長 田川 修身

特集 健民運動表彰式・花いっぱいのおどい開催
環境・文化活動の推進

- ◇ふるさと文化再発見！「みき再発見！！」
- ◇健民桜名所づくり運動「桜の保安全管理講習会」

健康体力づくり活動の推進

- ◇第18回能登地区健康クラブ普及育成研修会

青少年健全育成活動の推進

- ◇子どもドリームフェスティバル打合せ

健民運動活動紹介・奨励コーナー

1・2月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

薫風 “ハンド・イン・ハンド” 石川県子ども会連合会 会長 正木 明



鼓 動

石川県健康クラブ交歓大会 開催について

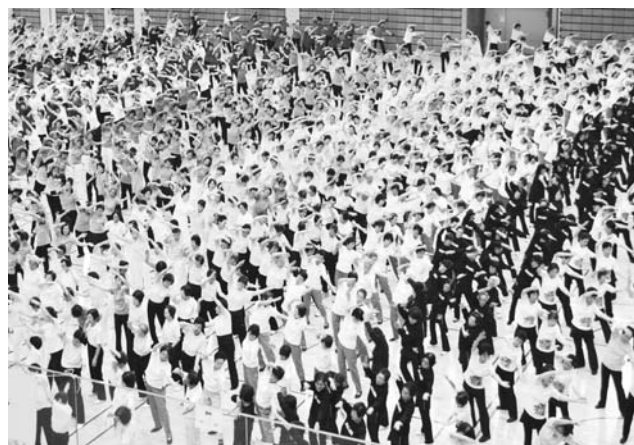
石川県健康クラブ協議会
会長 田川 修身

平成24年10月17日（水）、いしかわ総合スポーツセンターにおいて、「第39回太陽と緑に親しむ健民祭」の一環として、第45回石川県健康クラブ交歓大会を盛大に開催いたしました。南は加賀市から北は能登町までの県内各地で活躍する健康クラブのうち、37クラブ2,240名の皆さんが参加して、日頃の練習の成果を発揮され、近年にはない大きな盛り上がりを見せた大会となりました。

本年6月、県内各クラブのリーダーが、いしかわ総合スポーツセンターで開催した「普及育成研修会」に結集して受講した、全体演技のリズムダンスの振付などを、各地域に持ち帰り、各クラブで練習を重ねて演技を習得し、さらにそれぞれ独自の「クラブ発表演技」の練習に精を出して頑張った成果を遺憾なく発揮することができました。本大会に参加した皆さんからのコメントにも、猛暑のなか、一生懸命練習に励んだ様子や発表の成果と充実感が表現されていました。

大会当日は、午前9時30分から加賀健康クラブを先頭に全員堂々の入場行進を行いました。参加者のほとんどの方が70代の方々とは思えないほどハツラツとした、また、堂々とした入場行進を行うことができました。メインアリーナのフロアに整列した姿は、それぞれのクラブの色とりどりのユニフォームが美しく、まるでお花畑の真ん中にいるような錯覚を覚えさせるような彩りが感じられました。

開会式には、健民運動推進本部長の谷本正憲知事のユーモア溢れる楽しい「激励（励まし）」のお言葉をいただき、私も会場の皆さんも大いに感動し、盛り上がった次第です。また、式典では38名の健康クラブ推進功労者表彰も行いました。その後、参加者全員での全体歌唱、準備体操、そして全体演技のリズムダンスを行い、準備運動と進みました。小休止の後、11時からはいよいよ本番の各クラブの発表を行いました。各クラブは1曲5分以内の制限の中で、鹿島健康クラブの「アジアの海賊」を皮切りにそれぞれ素晴らしい演技を披露され、参加全クラブの発表も順調に進み、午後3時に予定どおり終了して、皆さん来年の再開を期してお開きとなりました。



特集

健民運動表彰式・ 花いっぱいのおどい開催

11月25日（日）午前11時から、石川県庁19階展望ロビーにおいて、今年度の「健民運動表彰式」を開催し、合わせて39名の小中学生のみなさんと、小学校2校が健民運動表彰を受賞しました。また、午後1時から同会場において、「花いっぱいのおどい」を開催いたしました！

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール 感想文の部／記録・観察作品の部



感想文の部最優秀賞
を受賞する西村俊亮さん



記録・観察作品の部最優秀賞
小松市立日末小学校代表

ふるさとのツバメ総調査作品コンクールの表彰では、感想文の部で最優秀賞を獲得した志賀町立加茂小学校6年の西村俊亮さんのほか、優秀賞1名と佳作4名に、谷本正憲本部長の表彰状及び記念品が贈呈されました。また、記録・観察作品の部では、小松市立日末小学校の「ツバメ新聞」が最優秀賞、金沢市立中央小学校が優秀賞を受賞しました。

ツバメのお宿シール原画コンクール 158校から応募1,445点！



最優秀賞の西村亮平さん



上は「原画」

ツバメのお宿シール原画コンクールの表彰では、最優秀賞を金沢市立小坂小学校6年の西村亮平さんが受賞したほか、優秀賞1名、佳作7名にそれぞれ賞状と記念品が贈呈されました。

「家庭の日」作品コンクール 作文の部／絵画・ポスターの部



受賞する麻生京香さん



受賞する岡山祥大さん

続いて開催した「家庭の日」作品コンクール表彰式では、はじめに作文の部で、最優秀賞を獲得した羽咋市立羽咋小学校5年の麻生京花さんに、谷本正憲本部長の表彰状と記念品が贈呈されたほか、優秀賞2名と佳作の5名が次々に受賞しました。

また、絵画・ポスターの部では、「あったかいお風呂」で最優秀賞に輝いた羽咋市立瑞穂小学校1年の岡山祥大さんに賞状と記念品が贈られ、5名が優秀賞、10名が佳作を受賞しました。



花いっぱいをつどい 第48回花いっぱいコンクール表彰式 開催



開会あいさつ 上田事務局長



最優秀賞受賞の鹿島中学校代表



優秀賞を受賞する皆さん



中堀会長の講評



入賞花壇の説明 村上吉春氏



表彰式参加の皆さん

健民運動表彰式を実施した、25日（日）午後1時から、県庁19階の同会場において、今年度の「花いっばいのつどい」を開催し、「花いっばいコンクール」で入賞した方々の表彰式を行いました。

上田事務局長のあいさつに続いて、13年連続で最優秀賞を獲得した中能登町立鹿島中学校を始め、優秀賞7団体3個人、奨励賞10団体に、谷本正憲本部長の賞状及び記念の楯が贈呈されました。次いで審査委員長の中堀宏昭石川花の会会長から講評が行われ、今年の猛暑の中での水やりの努力等が評価されました。その後、村上吉春審査員が優秀花壇のスライドを示しながら解説を行ったほか、最優秀賞受賞校の鹿島中学校から体験発表があり、参加者の皆さんは次年度の取り組みに生かされることと思います。また、連続受賞の鹿島中学校が次年度統廃合となることから、指導者の袋井真平さんの永年の努力を讃え、石川花の会会長から感謝状が贈呈されました。「つどい」終了後は、審査員による花づくり相談会が開催され、華やいだ表彰式の行事を終了しました。

入賞作品の展示会を開催

ふるさとのツバメ総調査パネル展 / 「家庭の日」作品コンクール
花いっばいコンクール写真展 石川県庁19階展望ロビーなど



「家庭の日」作品コンクール



花いっばいコンクールの展示を見る園児たち



ツバメ調査の作品のパネル展

健民運動推進本部では、県庁19階展望ロビーで11月13日（火）からツバメ調査や家庭の日に関する各コンクール、花いっばいコンクールの入賞作品の展示会を開催しました。会場には、連日多くの皆さんに訪れていただきました。団体で訪れた方々や近隣の保育園の園児たちが、地域の花壇の写真や、温かさが伝わる作文や絵画、地域で見慣れた「ツバメのお宿シール」などに熱心に見入る姿が見られました。

また、去る8月、本部を訪れた韓国のツバメ調査団が縁で、韓国の子どもたちから送られた韓国版「ツバメのお宿シール」の原画も展示され、注目を集めていました。



韓国から届いた原画作品

環境・文化活動の推進

ふるさと文化再発見！ みき再発見！！よみがえれ地域の宝 実施

11月15日(木)、加賀市立三木小学校において、健民運動推進本部が「ふるさと文化再発見事業」で助成している「みきを知る会」の「三木っ子 ふるさとカルタづくり」が実施されました。制作したふるさとカルタの絵札は、三木地区の文化や歴史を図案化した48枚に「**カ**加賀市」と「**ミ**三木」の2字を加えた50枚で、三木小学校の全校児童が一枚ずつ作成しました。午後1時30分からの5限目は、生活科で1年生と2年生19人が5つのグループに分かれ、地区の「みきを知る会」の会員の皆さんのご指導のもと、一生懸命に制作に取り組みました。制作時間は45分間でしたが、地区の皆さんと小学生のほほえましい交流が大変印象的で、地区の文化が次世代に伝わっていく様子を目の当たりにすることができました。6限目の総合的な学習の時間では、3年生から6年生までの31人の児童がそれぞれ、45分間で絵札の図案を仕上げました。7つの制作グループに、会員がそれぞれ指導に当たりましたが、高学年の児童は、昨年度の経験を生かして主体的に作品を完成させることができました。中には、アイデアを生かして独自の仕上げを施す児童もあり、指導者から「子どもはすごい」との声が上がっていました。

できあがった50枚の図案は、スキャナーでコピーをとり、絵札用の厚紙に貼り付けた上で裁断して仕上げるとのことでした。できあがったカルタは、学校の授業で活用するほか、地域の方々との交流の機会に生かしたり、今年度卒業する6年生の卒業記念とするということでした。

このほか、三木地区の郷土史の会「みきを知る会」では、三木地区を紹介するパンフレット「みきものがたり」を作成し、近年増加しつつある地区の北国街道をウォーキング等に訪れる方々に配布し、三木地区の「交流人口」を増やし、豊かな町づくりにつなげたいとしています。



野崎会長のお話しをお聴きました。



三木を知る会の皆さんがご指導



校長先生からもご指導を受けました。



1時間で素敵な絵札ができました。



三木地区紹介の「みきものがたり」拡大版を持つ竹本館長



絵札・読み札のセット



絵札が完成

健民桜名所づくり運動 桜の保全管理講習会 県内4箇所で開催

健民運動推進部では、地域の桜名所づくりと桜の美しい石川県づくりを県民総ぐるみで推進する「健民桜名所づくり運動」を展開しており、昨年度から桜名所づくりアドバイザーによる「桜の保全管理講習会」を開催しています。今年度開催した4地区の中から、小松市のせせらぎの郷振興会の講習会をご紹介します。



樹木医の立花先生による講義



先生の説明を熱心に聴く受講者



せせらぎの郷会場



屋外での実技



剪定道具・実技風景



実地指導



集められた桜の枝

1 1月24日(土)午後1時30分から小松市瀬領町の植樹団体「せせらぎの郷振興会」(代表：横田明芳さん)の依頼による、本年度第2回目の「桜の保全管理講習会」を開催しました。参加者は地区の皆さんをはじめ、小松市役所や金沢市からの参加者を含め22名の皆さんで、日本花の会桜の名所づくりアドバイザーの立花武志先生に講師をお願いしました。せせらぎの郷では、平成12年、13年に染井吉野、大山桜、仙台屋の3種類90本を植樹し、うち70本が春には華麗な花を咲かせます。

約4時間の講習会のうち前半の講義で、講師の立花武志先生から、「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と言われるが、桜も切っても良く、剪定時期と事後処置を誤らず、将来を見据えて若木のうちからしっかり剪定すべきこと、桜には水分より空気が必要で、根の周りの土を落ち葉などでフカフカにし、微生物を育てることが大切なことなど目から鱗の教えをいただきました。その後は、屋外の現場に移って剪定方法を学びました。参加者はそれぞれ、のこぎり、剪定鋏、枝の切り口保護剤を持ち、実習に取り掛かりました。初め、恐る恐るだった皆さんも、次第に枝の見極めができるようになり、1時間ほどで切った枝が山のようにになりました。立花先生からは、地上から2mまでの枝は将来邪魔になるので早めに切ること、大山桜は箒状に成長して中心に枝が密集するので、芯となる枝を残して間引きすることなどのアドバイスがありました。てんぐ巣病に罹っていた枝もきれいに取り除くことができ、植樹後、一度も剪定したことがない桜並木は、肥料も施され、春には満開の花を咲かせ、皆さんを楽しませてくれることと思います。

◇ 今年度の「桜の保全管理講習会」開催地区は、次のとおりです。

1	11月14日(水)	石川県立児童生活指導センター(内灘町)	3	12月1日(土)	横田環境保全会(七尾市)
2	11月24日(土)	せせらぎの郷振興会(小松市)	4	12月2日(日)	曾宇町寺尾観音桜世話人会(加賀市)

健康体力づくり活動の推進

第18回 能登地区健康クラブ普及育成研修会 開催



平成24年度第18回能登地区健康クラブの普及育成研修会が、10月25日（木）穴水町B & G海洋センター体育館で能登地区の22クラブから約140名が参加して開催されました。本大会は穴水町健康クラブ（松田栄四郎会長）が主管して開催したもので、平成25年5月、健康クラブ会員約1,500名が参加して、穴水町で開催される「能登地区健康クラブ交歓大会」で披露する歌唱や集団演技などを地元の各クラブ員に伝達するためのリーダー研修会として開催されたものです。

10時からの開会式では、石川県健康クラブ協議会の田川修身会長が挨拶し、続いて石川宣雄穴水町長が歓迎と励ましの言葉を述べられました。

次いで、穴水町健康クラブの松田会長から研修概要の説明があり、実技研修が開始されました。

研修内容は、準備体操が「健民さわやか体操」、全体歌唱が「一人の手」と「村祭り」、集団演技が「ふるさと元気節」と「穴水よいところ」でした。それぞれ、講師の先生方から丁寧な指導があり、日頃から施設慰問などで活躍している皆さんだけあって、若々しく元気いっぱい熱気あふれる感動的な研修会となりました。



参加したリーダーの皆さん



準備体操「健民さわやか体操」



集団演技1「ふるさと元気節」の研修



集団演技2「穴水よいところ」の研修

青少年健全育成活動の推進

子どもドリームフェスティバル 打合会 を現地開催



県立音楽堂邦楽ホールステージ上での打合せ

12月1日（土）と3日（月）の2日に分けて、県立音楽堂邦楽ホールで、1月20日（日）に開催する「第15回子どもドリームフェスティバル」の打合会を開催しました。参加した各実行委員会の保護者や先生方は舞台や楽屋を見学し、実際のステージの広さや高さ、客席や照明の状況などを確認して、こだわりの演出に思いを巡らしたり、これからの練習計画を検討したりなど、子どもたちの夢の完成に向けて具体的な検討に入りました。内容は本誌裏表紙をご覧ください。おたのしみに！

健民運動紹介・奨励コーナー

健康体力づくり出前講座

羽咋健康クラブ

11月1日(木)

11月1日(木)、午前9時30分から羽咋市役所横体育館で羽咋健康クラブの健康体力づくり出前講座を実施し、48名が参加しました。最初の「健民さわやか体操」の後、沖縄の歌2曲のレクダンスを習いました。一曲目の「花」は、沖縄の色鮮やかな花や浜辺の情景を思い描きながらリラックスして踊ることができました。2曲目の「芭蕉布」は、シングルサークルを作って軽やかな3拍子ステップで踊るダンスです。方向転換もあり、少し難しいダンスですが、すぐに習得して踊ることができました。最後は「川の流れるように」の整理体操で締めくくりました。最初の「健民さわやか体操」と最後の「川の流れるように」は、羽咋健康クラブの定番だそうです。講師は県レクリエーション協会の青山節子先生でした。



能登町内浦健康クラブ

11月13日(火)

11月13日(火)、午前9時30分から能登町内浦体育館において、内浦健康クラブの出前講座を実施しました。参加者は女性ばかり70名の皆さんでした。講師は県レクリエーション協会の角智加先生で、地元の皆さんとは馴染もあり、和気藹々の中でしっかりと学ぶことができました。参加の皆さんはお揃いの「エメラルドグリーン」のジャージ姿で、若々しさが引き立っていました。講座開始に先立ち、ウォーキングと「健民さわやか体操」で準備体操を済ませて整然とした隊形を整え、ゲーム感覚の楽しい運動を実施しました。その後、グループ別に新聞紙を使った輪投げや、頭と身体を鍛えるハードな運動も交えて楽しみました。最後は記憶力を鍛える「ビンゴ大会」で盛り上がり、予定時間を大きくオーバーして、午後2時に出前講座を終了しました。



津幡町笠谷地区体育協会

11月21日(水)

11月21日(水)、午後1時30分から笠野公民館において、笠谷地区体育協会の出前講座を開催しました。参加者は男女計22名で、運動習慣のあまりない方々を対象としました。最初は、座っている人を後ろから白菜を漬ける要領でさすったり押したりする「白菜マッサージ」でリラックスし、準備体操として「健民さわやか体操」を行いました。その後、タオルを使った各種ストレッチや畳の上で「ペタンク」の体験などを楽しく行いました。笠谷地区体育協会代表の米田さんは、日頃から山間地域の高齢者の体力づくりのため、誰でも参加しやすい運動を工夫されているようで、講座終了後も講師の先生と熱心にお話ししておいでました。当日の講師は県レクリエーション協会の青山節子先生でした。



第34回 少年の主張石川県大会 発表記録集 発行

中学生の皆さんが、日常生活の中での体験や考えを自分の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を提供することにより、社会参加の意識を醸成するとともに、多くの大人に現代の中学生への理解を深めていただくことを目的に、9月29日(土)県青少年総合研修センターで開催した「石川県大会」の記録集ができあがり、県青少年育成推進指導員を始めとする関係の皆さんに配布いたしました。本部のHPにも掲載しましたので、是非ご覧ください。



花いっぱい運動「花の里親」さんからの報告 紹介

健民運動「花いっぱい運動」の一環として実施した「花の里親」事業で、ご応募いただいた里親の皆さんから、今シーズン収穫した花の種がいっぱい入った報告書が届いています。花の里親さんからのお便りから一部をご紹介します。

花の里親 No.18 松坂久代さんからのお便り

実家の玄関にアサガオとマリーゴールドを植えました。暑い夏に元気に花をつけて、父母もとても心が和んだと喜んでいました。私の家では10月に入っても百日草、マリーゴールドが元気に咲いています。花のある環境は本当にいいものです。職場の駐車場の一角にあるスペースにコスモス100本を植えていただきました。多くの方に苗をお裾分けでき、たくさんの花が咲きました。ありがとうございます。心から感謝しています。



◇第21回石川県民スポーツ・レクリエーション祭に参加しましょう！

1月の開催市町・期日・大会名・会場

開催市町	期日	大会名	会場	主管団体
白山市	1月20日	スキー・スノーボードフェスティバル	白山瀨女高原スキー場	NPO法人もんぜんスポーツクラブ

1・2月の健民運動カレンダー

1/13(日) 2013新春ゲートボール大会
 会場：野々市市さわやかホール、中能登町鳥屋室内ゲートボール場
 七尾市田鶴浜室内ゲートボール場
 主催：石川県ゲートボール協会

1/17(木) 10:00～健民運動青少年ボランティア賞表彰式
 会場：石川県庁11階1109会議室
 主催：健民運動推進本部

1/20(日) 13:30～第15回子どもドリームフェスティバル
 会場：石川県立音楽堂邦楽ホール
 主催：健民運動推進本部

2/5(火) 千里浜健康クラブ体力づくり出前講座
 会場：千里浜公民館（羽咋市）
 主催：健民運動推進本部

2/16(土) スポーツ少年団指導者研修会
 会場：いしかわ総合スポーツセンター
 主催：石川県スポーツ少年団



山茶花 (Camellia sasanqua)

「あいむ」だより



* 収集物（12月分）*

＜使用済み切手など＞

県民交流課、医療対策課、障害保健福祉課、小松県税事務所、監査委員事務局の計5件。
ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

お知らせ

1日丸かじりNPO入門セミナー

開催のお知らせ

NPO法人を運営していく上で必要不可欠な設立申請手続きや会計・税務、労務、登記の基礎知識を1日で学びます。

日時：平成25年1月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日) 10:00～16:00

※ すべて同じ内容の講座となりますので、ご都合のつく日にお申し込みください。

場所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」会議室

対象：NPOの法人化に向けての興味がある方々

定員：各回ごとに20名を予定（定員になり次第締め切ります。）

参加費：無料（但し、事前申し込みが必要です。）

《参加のお問い合わせ・お申し込み》

（特）いしかわ市民活動ネットワークセンター（i-ねっと）

TEL：076-232-6673 E-mail：ishikawa@inetnpo.com



大喜利形式で楽しく学べるNPO地域相談会

半日丸かじりNPOセミナー&相談会in能登・加賀 開催のお知らせ

司会から出されるNPOに関する簡単な課題や問題に対して、会計・税務・登記・労務・運営の専門家が、それぞれの立場から分かりやすく解説します。

◎ 各地とも参加料無料、定員20名程度

能登地区

日時：平成25年2月9日(土) 13:00～16:00

場所：七尾市サンライフプラザ 七尾市本府中町ヲ部38番地

加賀地区

日時：平成25年2月10日(日) 10:00～13:00

場所：こまつまづくり交流センター 小松市小寺町乙80

《参加のお問い合わせ・お申し込み》

（特）いしかわ市民活動ネットワークセンター（i-ねっと）

TEL：076-232-6673 E-mail：ishikawa@inetnpo.com



石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 <http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料 無料）

お問い合わせ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」までお気軽にどうぞ。香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。

薫 風

“ ハンド・イン・ハンド ”

石川県子ども会連合会
会長 正木 明

師走になりました。新しい年がよい年でありますように。

ところで、師走と言えば、いろいろ恒例の行事があります。年賀状、流行語大賞、今年の漢字、歳末助け合い。

ユニセフのハンド・イン・ハンド募金もその1つです。

ご存じのとおり、ユニセフは、“UNICEF”で、United Nations Children's Fundの略称です。日本語では、「国際連合児童基金」です。

ユニセフは、世界中の恵まれない子ども達のために、予防接種や保健の仕組みを整え、学校を建てることはもとより、先生を育てたりしています。

わが国も、第二次世界大戦後の1949年から1964年まで学校給食用の粉ミルクや医薬品など、当時のお金で65億円の支援を受けました。また、昨年の東日本大震災の際は、半世紀ぶりにユニセフの支援を受けています。

ユニセフは国連の機関ですが、国連本体からは一切資金提供を受けず、各国政府からの任意の資金と民間の募金で運営されています。

我が国でユニセフを代表する機関として日本ユニセフ協会があり、さらに、多くの道府県に、ユニセフの支援活動を行う地域協会が設立されています。

石川県でも、去る11月8日に24番目の地域協会として、石川県ユニセフ協会が設立されました。石川県子ども会連合会もボーイスカウト、ガールスカウト等の団体とともに、石川県協会の設立に参加しました。

日本協会が11月と12月に行うハンド・イン・ハンド募金では、金沢市青少年団体連絡協議会のメンバーも12月23日を中心に、街頭に立って募金活動を行っております。皆さんも、子ども会やボーイスカウト、ガールスカウトの子ども達が協力を呼びかける姿をご覧になったと思います。募金活動をすると、子ども達もすがすがしい顔になります。

皆さんも、ユニセフに限らず、子ども達が募金をお願いしているときには、是非御協力を。子ども達のさわやかな笑顔のためにも。

1月20日(日)午後1時30分 県立音楽堂邦楽ホールで
第15回子どもドリームフェスティバル開催
お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください!(入場無料)

第15回
子どもドリーム
フェスティバル

今年、子どもたちが力を合わせて実現した5つの夢の報告発表会を開催します!
お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください!(入場無料)

日時 平成25年1月20日(日) 13:30~15:45
開場は12:30です

場所 石川県立音楽堂邦楽ホール

<5つの夢の内容>

①本格的な舞台上で日舞を发表したい
×ロン幼稚園(金沢市)

②ビー玉などを転がすからくり装置を作りたい
石崎小学校2年生(七尾市)

③大きなステージでリズムダンスを踊ってたくさんの人にみてもらいたい
ドリームパワーdeジュニア
☆リズムダンスチーム(羽咋市)

④手づくりのミュージカルを发表したい
子どもミュージカル劇団
こんべいとう☆(小松市)

⑤学校の池を生き物がすめるピオトープにしたい
石川小学校5年生(白山市)

みんなの夢が
かなったよ!

主催 石川県 石川県健民運動推進本部
後援 石川県教育委員会

毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～